

● 授業計画

1年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	麻酔科学特論	麻酔科学では、有害刺激による痛みに対する生体内鎮痛システムの解明や、鎮痛薬の作用機序解明に関する基礎研究及び臨床研究を行い、難治性慢性疼痛に対する有効な鎮痛法・鎮痛薬開発に貢献することを目的としている。	堀下	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	麻酔科専門医養成講座	安全かつ安心な周術期医療の提供といった国民のニーズに応えることのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心	堀下	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第3	月曜	3限	緩和ケアの基本概念と実践 (がん専門医師養成科目)	緩和医療は、疼痛管理学を基礎とした臨床分野であり、緩和ケアチームの中でさまざまな問題点の実践的な探求を行うための基本的な知識の習得を目的とする。	堀下	カンファレンス ルーム

2年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	4限	麻酔科学特論	麻酔科学では、有害刺激による痛みに対する生体内鎮痛システムの解明や、鎮痛薬の作用機序解明に関する基礎研究及び臨床研究を行い、難治性慢性疼痛に対する有効な鎮痛法・鎮痛薬開発に貢献することを目的としている。	堀下	カンファレンス ルーム
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	麻酔科学演習	生体内鎮痛システムの解明や鎮痛薬の作用機序解明に必要な行動薬理学的研究、電気生理学的研究の理論・手法を習得する。	堀下	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	麻酔科学実習	麻酔科学において広い見地に立った研究を遂行できるよう、専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。	堀下	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	麻酔科専門医養成講座	安全かつ安心な周術期医療の提供といった国民のニーズに応えることのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心	堀下	カンファレンス ルーム

## 3年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第2	火曜 木曜	16:00 ～ 17:30	麻酔科学演習	生体内鎮痛システムの解明や鎮痛薬の作用機序解明に必要な行動薬理学的研究、電気生理学的研究の理論・手法を習得する。	堀下	カンファレンス ルーム
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	麻酔科学実習	麻酔科学において広い見地に立った研究を遂行できるよう、専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。	堀下	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	麻酔科学論文指導	得られたデータをまとめ、関連する専攻論文等を参考にしながら、新規性のある論文作成に努める。	堀下	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月 3月	第3	金曜	4限	麻酔科専門医養成講座	安全かつ安心な周術期医療の提供といった国民のニーズに応えることのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を实践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心	堀下	カンファレンス ルーム

## 4年次

日程			限目時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	4限	麻酔科学実習	麻酔科学において広い見地に立った研究を遂行できるよう、専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。	堀下	カンファレンス ルーム
毎月	第2 第4	金曜	4限	麻酔科学論文指導	得られたデータをまとめ、関連する専攻論文等を参考にしながら、新規性のある論文作成に努める。	堀下	カンファレンス ルーム
6月 9月 12月	第3	金曜	4限	麻酔科専門医養成講座	安全かつ安心な周術期医療の提供といった国民のニーズに応えることのできる、麻酔科およびその関連分野の診療を实践する専門医を育成する。具体的には下記の4つの資質を修得する。 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心	堀下	カンファレンス ルーム